

動物たちのために、私たちにできること、 私たちだからできること

— ヒトと動物の共生を目指している科学者からのメッセージ —

日時：平成 **27**年 **9**月 **27**日(日) 1:00pm～5:00pm

場所：くまもと県民交流館パレア 熊本市中央区手取本町8-9

受講対象者：中学生・高校生・教職員・一般

ヒトは動物から多大な恩恵を受けて、今日まで共生を続けて来ました。動物にとってより良い環境とは何か？動物の健康を守るにはどうすれば良いか？ヒトと動物の共生を目指す、宮崎大学の若い研究者が熱く語ります！
皆さんのお越しを、心よりお待ちしております！



はじめのあいさつ



1:05～1:45 何かが見える！何かが見える！？
画像診断の可能性 (佐藤裕之 准教授)



1:50～2:30 中国の草地における土－草－家畜について (井戸田幸子 准教授)



2:45～3:25 先手必勝！予防は最強の治療法 (関口敏 准教授)



3:30～4:10 若者が畜産を変える！IT技術の活用法 (佐々木羊介 准教授)



4:25～4:55 全体的な質疑応答

入場無料

要申込み (先着順)
(定員300名)

終わりのあいさつ

5:00～5:30 個別の質疑応答 ※大学入試に関する質問も受け付けます。



内容に関するお問合せ

宮崎大学農学部獣医学科
Email : vet@agr.miyazaki-u.ac.jp
TEL : 0985-58-7277



受講申込先

宮崎大学研究国際部産学・地域連携課
Email : m-chiiki@of.miyazaki-u.ac.jp
TEL : 0985-58-7188

右のバーコード(QRコード)を読み取ると、お申し込み用のアドレスが表示されます。



動物たちのために、私たちにできること、私たちだからできること

ーヒトと動物の共生を目指している科学者からのメッセージー

ヒトは動物から多大な恩恵を受けて、今日まで共生を続けて来ました。これからも動物たちとより良く暮らすために大切なこととは？動物にとってより良い環境とは何か？動物の健康を守るにはどうすれば良いか？宮崎大学農学部畜産草地科学科と獣医学科の若い研究者が熱く語ります！

1:00 開会

1:05



佐藤裕之准教授（大分県出身 別府鶴見丘高等学校卒）

生きている動物たちの身体の中を、動物を傷つけることなく調べる検査として画像診断は欠かせないものです。伴侶動物から産業動物まで、その可能性は近年大きく飛躍しています。細胞から牛肉の霜降りまで（？）、画像診断機器を応用した研究の一端を紹介します。

1:50



井戸田幸子准教授（大阪府出身 摂津高等学校卒）

世界的にみると草原あるいは草地は、陸地面積の37.1%を占めていると言われています。この草地では、家畜と共に生活をしている人々がいます。調査で訪れた中国やインドでの家畜と人の生活の様子や草地でおこなったフィールド調査の様子を紹介します。

(休憩)

2:45



関口 敏准教授（埼玉県出身 松山高等学校卒）

『予防は治療に勝る』という言葉があるように、病気になってから治療するよりも、病気にならないように日々心がけることが大切です。では動物たちを病気にさせないためにはどうすればよいのでしょうか？今回の講座では、「予防」の重要性和動物を病気から守るための様々な方法を紹介します。

3:30



佐々木羊介准教授（岩手県出身 盛岡第一高等学校卒）

スマホ、タブレット、パソコン。今や私達の生活にIT技術は必要不可欠です。畜産分野でも、IT技術の発達に伴い、様々な情報を含むビックデータを構築してきています。では、そのビックデータはどうやって活用するのか？今回の講座では、今後若者が担うであろうビックデータの活用法について紹介します。

(休憩)

4:25 全体的な質疑応答

4:55 閉会

5:00 ~ 5:30 個別質疑応答

宮崎大学農学部畜産草地科学科HP

(<http://www.agr.miyazaki-u.ac.jp/~ags/>)

宮崎大学農学部獣医学科HP & Facebook も見てね♪

(http://www.agr.miyazaki-u.ac.jp/~vet/vet_HP1.htm)

